

春ノ二表

のちの世しらで人のすぐらん

なにごとにとまるころの有ければ

さらにしも又世のいとはしき

かやうにうちながめてすぐるほどに大

・ 治 ぢ 二年 ねん の比 へ 鳥羽殿 とばどの へ御幸 みゆき ならせ給て

はじめたる御所 ごしょ の御障子 むやうじ の絵 え おもしろ

かりけるを御らんじて其時 そのとき の哥讀 うたよみ 経 つね

・ 信大納言 のふのだいなごん などめされてわれも ／＼ といと

なみよまれける中にのりきよをめ